

きよせ



～特集～

清瀬のおいしい学校給食

自分たちで収穫したとうもろこしを食べる清瀬第十小学校の子どもたち



畑のとうもろこしが収穫されて給食に出るまでの過程を学習

清瀬産の野菜を食べよう！
夏野菜カレー

好みに合わせてチョイス！
セレクト給食



特集 清瀬の美味しい学校給食

清瀬市では小学校は年間184回、中学校は180回の給食を実施しています。普段当たり前のように口にしている給食ですが、成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のため、適切な栄養摂取ができるようアレルギー等の対応も含め食材選びから献立、調理、配膳まで様々な工夫を行っています。



写真①農家の村野さんからとうもろこしをもらって、調理の様子を撮影した。写真②各小学校の給食室で調理する様子。写真③各小学校の給食室で調理する様子。写真④各小学校の給食室で調理する様子。写真⑤各小学校の給食室で調理する様子。

清瀬市立小・中学校では、給食を通じて望ましい食習慣を身に付け、食生活が自然の恩恵の上に成り立ち、生産・流通等の様々な活動に支えられていることや、優れた伝統的な食文化について理解を深める「食育」を実施しています。殊に清瀬の給食は、地元産の食材を地元で消費する「地産地消」を心がけて作っています。7月に清瀬第十小学校では総合的な学習の時間に近所の村野さんの畑におうかがいし、とうもろこしの収穫体験を実施しました。1本の幹でとうもろこしの実を1つだけ育てることによりおいしさを凝縮させること、ひげの数だけ実の粒があることなどを教えていただき、子どもたちは新しい発見に驚いた様子でした。自分たちで収穫したとうもろこしは学校を持ち帰って自分たちで皮をむき、給食で食べました。地域で営まれる農業を直に体験し、食材が給食として出るまでには様々な過程があることを学習しました。

できたてのおいしさをそのまま提供しています

清瀬の給食は昔から一貫して各小学校の給食室で調理をしています。そのため温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま、できたての美味しい給食を提供することができます。また、小学校の一部と中学校では調理業務を民間業者に委託し、民間の力を活用しながら給食調理業務を実施しています。

市内共通の献立で給食を提供

各学校と教育委員会の栄養士が毎月集まって献立会議を開き、小学校と中学校で市内共通の標準献立を作成します。その後、どんな食材を使えば一番おいしく調理でき、栄養満点な給食が作れるかを考える物資選定会議を開きます。また、食材については明治薬科大学の協力を得て2週間に1回放射能物質検査を行っています。こうして決まったことを基本として、各学校で諸条件を考慮して献立が完成します。このため市内どの学校でもほとんど同じ献立の給食を食べることができます。また、月1回調理員による会議を開き、作り方や作業手順等の情報交換を行っています。

みんなで給食のあり方を考えています

校長・副校長と栄養士、養護教諭、教育委員会職員、保護者代表、調理員による給食運営委員会を定期的に開催しています。給食関係職員だけではなく、教育委員会や保護者も交えて献立のほか調理方法など、これまでの給食を振り返っての報告やこれからの課題などをじっくり話し合い、より広い視野で給食のあり方を考えています。良い点はより伸ばし、反省点は改善していく取り組みをしていくことで、おいしい給食が提供できるのです。



清瀬小学校での給食運営委員会

安全・安心な給食を提供するためにアレルギーへの対応

昨年度内で食物アレルギーにより子どもが命を落とす痛ましい事故が起きました。清瀬市では事故を防ぐため、食物アレルギーのある子どもに対しては、医師の診断に基づき保護者と関係教職員との十分な面談を行った上でアレルギー対象物質を除去した給食を色の異なる専用の食器を使用して提供しています。また、アレルギー物質を含む献立の日のおかわりは禁止とする対応基準を策定しました。アナフィラキシーショックが生じた際にも、教職員全員が適切に対応できるようにするため、4月に多摩北部医療センターの小児科医師を招き、学校だけでなく保育園・学童クラブも含めてアレルギーに対する研修会を実施し、緊急事態に即座に対応できる体制を整えています。



研修会の様子

小学校で使用する食器の入れ替えを進めています

小学校では軽くて丈夫なポリプロピレン樹脂製の食器を使用していますが、平成25年からポリエチレンナフタレート樹脂(PEN)を使った食器に順次入れ替えを進めています。PEN食器は軽くて丈夫なことはもちろん、耐熱性や耐薬品性があり塩素系漂白剤での消毒が可能であること、さらに家庭で使用している食器に近い外見が特徴で、給食の盛りつけが映え食欲増進の効果が期待できます。また、ラーメンやうどんといった麺類に対応するどんぶりやデザート類に対応する小皿を新たに導入します。年に3校ずつ、3年間で全校の食器を入れ替える予定です。



PEN食器に盛った給食



給食試食会を実施しています

食育は家庭との連携が大切です。普段子どもたちが食べている給食を知ってもらうこと、家庭での食生活を振り返ってもらうこと等を目的として各学校で給食試食会を実施しています。7月に芝山小学校で実施した試食会では、栄養士から正しい食生活についてアドバイスをし、家庭でも子どもに野菜をたくさん食べさせてもらえるようお願いしました。試食が始まると会場からは「おいしい!」という声がたくさん聞こえてきました。



写真左 教室で子どもたちと一緒に楽しく給食を食べました。
写真右 この日のメニューは冷やし中華・トマトサラダ・フライドポテトの3種類。冷やし中華は具だくさんで大満足。フライドポテトは2度揚げにより外はカリッと中はふんわり仕上がっていました。

◎平成25年11月に開催予定の農業まつりにて「食育展」を実施し、その中で一般の方向けに学校給食の試食会を行う予定です。清瀬のおいしい給食をぜひ召し上がってください。皆さんのお越しをお待ちしています。



検食する第四小学校佐藤校長先生

子どもたちが給食を口にする前に、校長先生が一足先に給食を食べ、異物の混入などがないかを確認する「検食」を毎日実施し、安全な給食であることを確認してから提供しています。

検食の時間



選んだ飲み物を手にする第四中学校の生徒

ユニークな給食「セレクト給食」
いくつかのメニューから自分で好きなものを選んで食べることができ「セレクト給食」を実施。この日は3種類の飲み物から好きなものを選びました。

栄養士からのメッセージ

緑豊かな清瀬は農業がとても盛んで、おいしい野菜がたくさんあります。一般的な食材は様々な流通過程を経て消費者の元へ届けられるため、どうしても鮮度や栄養価が低下してしまいます。そこで清瀬で作られた食材を清瀬で消費する「地産地消」を実践することにより、食材をより新鮮な状態でよりおいしく食べることができます。

最近は野菜嫌いの子どもが多いのですが、調理方法を見直したり子どもの好むメニューに野菜を取り入れたり、抵抗なく野菜が食べられるよう工夫して献立を考えています。

清瀬で育まれた野菜を多く取り入れ、安全安心なおいしい給食を子どもたちに提供できるよう努力していきたいと思います。



■おおくら いくみ
清瀬第四中学校所属栄養士。平成25年4月より現職。給食の時間には各教室をまわり、食の指導に励んでいる。いつも元気な笑顔で子どもたちに親しまれている。

大倉郁美

お願い

清瀬の学校給食は保護者の皆さんから頂いた給食費によって食材を購入し、子どもたちに提供しています。引き続きおいしい給食を提供できるよう、給食費の納入にご協力をお願いします。
【問合せ】教育総務課

平成25年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

市立小・中学校の小学校3・4年生と中学校1年生を対象に、市独自の調査を実施しました。この調査の目的は「児童・生徒が自分の学習の到達状況を知り、学習の課題を理解して確かな学力を身に付けること」、「結果の分析を通して、指導法の改善や指導力の向上を図り、学校教育の一層の充実を目指すこと」です。結果は問題ごとに決められた目標値を超えた児童・生徒の割合をパーセントで表した達成率で示されます。

【調査概要】

- (1) 実施日：平成25年4月12日（金） (2) 受検者数：小学生1,261名、中学生584名
 (3) 調査項目：〔小学校〕国語・算数・学びに対する意識調査〔中学校〕国語・数学・英語・学びに対する意識調査

【調査結果】※下記各教科の表中のオレンジ色の部分は、市の平均正答率が目標値を下回っている部分です。

(1) 国語の観点別結果と考察

(単位：%)

国語	小学校3年生			小学校4年生			中学校1年生		
	目標値	市平均	達成率	目標値	市平均	達成率	目標値	市平均	達成率
教科総合	75.7	76.5	64.6	52.3	56.0	60.9	47.8	49.3	52.1
基礎	80.8	80.0	58.1	58.2	64.2	66.1	53.0	56.9	56.0
応用	45.0	55.3	55.7	30.8	25.9	46.1	30.7	24.6	26.9

- ・ 応用の調査では、小学校3年生で目標値を上回りましたが、小学校4年生・中学校1年生では下回りました。国語で必要とされる力（観点）ごとで分析した結果では、経験したことや想像したこと、調べたことや自分の考えを文章として書き表わす等の「書く力」や、自分の経験や想像、考えなどを他者とやり取りする「話す・聞く力」が学年によって習得状況に差がみられました。
- ・ 小学校3年生では「文学的文章」の結果が目標値を上回りました。文学的文章の内容や主題の理解が十分にできています。小学校4年生・中学校1年生では「説明的文章」が目標値を上回りました。説明的文章の内容や趣旨の理解が確実にできています。文章の読み取りと合わせて、文章構成に着目させるなど指導方法を工夫し、課題である表現力を育成する取組みを継続していきます。

(2) 算数・数学の観点別結果と考察

(単位：%)

算数・数学	小学校3年生			小学校4年生			中学校1年生		
	目標値	市平均	達成率	目標値	市平均	達成率	目標値	市平均	達成率
教科総合	72.0	76.9	74.2	63.8	70.9	69.1	62.3	68.5	66.9
基礎	75.0	81.3	79.3	68.9	77.7	72.9	64.6	70.7	66.4
応用	60.0	59.5	65.9	50.0	52.5	53.9	51.0	57.6	58.5

- ・ 「基礎」の調査、「応用」の調査ともに、多くの学年で目標値を上回る結果になりました。各学年で最低限身に付けてほしい内容はほぼ定着しています。
- ・ 算数・数学で必要とされる力ごと（観点）で分析した結果では、課題解決の場面で身に付けた知識や技能のうち、どれをどの様に使うべきか考えたり、そのようにして立てた考え方を説明したりするなどの「数学的な考え方」が概ね身に付いています。今後も考え方を話し合わせたり、説明したりする活動を確保し、思考力・判断力等を高める取組みを継続していきます。

(3) 英語の観点別結果と考察

(単位：%)

英語	中学校1年生		
	目標値	市平均	達成率
教科総合	68.7	71.9	67.6
基礎	70.0	67.8	45.8
応用	65.0	82.9	85.8

- ・ 「基礎」の調査では目標値を下回りました。学年で最低限身に付けてほしい内容が定着していない結果となりました。
- ・ 「応用」の調査で目標値を大きく上回りました。英語で必要とされる力（観点）ごとで分析した結果では、「言語や文化に関する体験的理解」が十分に身に付いていることが明らかになりました。反復練習を含めた基礎・基本の習得に向けた取組みを工夫していきます。

(4) 意識に関する調査の結果と考察

(単位：%)

設問項目	小学校3年生	小学校4年生	中学校1年生
本や新聞を読んでいる。	80.5	68.4	69.0
朝食は毎日食べている。	96.0	96.0	96.2
家族は自分のことを気にかけてくれていると思う。	89.1	86.9	88.1
普段から「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	63.7	68.4	77.0
学習をしていて「面白い」「楽しい」と思うことがある。	88.3	82.4	84.0
学習をしていてわかったりできたりすることが増えるのは嬉しい。	95.2	90.5	88.9
同じ間違いをしないように気をつけている。	89.7	89.9	87.5
テストで間違えた問題はもう一度やり直している。	83.6	74.0	59.9
新しく習ったことは何度も繰り返して練習している。	66.7	53.6	47.1
目標に向けて普段からコツコツ学習している。	75.9	66.2	59.7
わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	74.2	75.1	66.2
学習を始めたら他のことに気をとられないで集中している。	89.7	84.6	58.4
授業を集中して受けている。	92.5	87.0	89.0
自分には先生や友達から褒められるような得意なことがある。	75.2	76.2	69.6
自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	92.8	91.8	93.5

- ・ 各学年の意識に関する調査はそれぞれの設問項目に対して肯定するのか否定するのかを調べ、さらに教科に関する調査結果との関連について分析しました。上記の表は肯定的な回答をした児童・生徒の割合をパーセントで表したものです。オレンジ色の部分は教科に関する調査の学力上位層と下位層とで肯定的な回答をした児童・生徒の割合に大きな差があった項目です。「本や新聞を読んでいる」からは読書や新聞を読むこと、社会・世界や未知の知識への興味・関心が学力と関係していると考えられます。「わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している」からは積み残しをなくすことが次の学習へのスムーズな移行を可能にしていると考えられます。「朝食は毎日食べている」からは確かな学びを支える基本的な生活習慣の確立が進んでいると考えられます。
- ・ 子どもたちは学習内容が定着することで、自分の成長を楽しむとともに成長した自分の姿に期待している様子がうかがえます。確実に学力を定着させるための指導方法を工夫し、子どもの学力を向上させ、自尊心や自己肯定感を高め生きる力を育む指導を進めていきます。

【問合せ】指導課 市役所内線352

よみせ歴史雑話

第2回 徳川將軍家正室の宝塔



長命寺

長命寺は増上寺が同じ浄土宗であるよしみから快諾し、2基の宝塔は清瀬に移されたのです。西武鉄道は膨大な数の宝塔類を解体して保管していたため、本来の石の組合せが分からない状態になっていました。それゆえこの2基の宝塔は他の石と組み直されており、正確な復元とはいえませんが、往時の面影を十分に偲ぶことができます。

<参考文献>秋元茂陽「徳川將軍家墓碑総覧」(株式会社パレード 2008年)

※長命寺へ見学に行かれる際はマナーを守りご迷惑にならないようお願いします。

市内には多くの歴史的文化遺産があり、この地で生きてきた人々の足跡を現在に伝えています。ここでは、そのような清瀬の歴史や文化財について紹介していきます。

長命寺(下清戸二丁目)は、感譽上人(後北条氏の重臣大道寺政繁の甥)により戦国期に開山されたと伝わる歴史ある寺院です。山門をくぐると真っ先に視界に飛び込んでくる、堂々たる2基の宝塔。実はこれら、天英院(江戸幕府6代將軍家宣正室 近衛熙子)と広大院(江戸幕府11代將軍家斉正室 近衛亮子、実父は薩摩藩主島津重豪)の宝塔と推定されており、元々は徳川將軍家菩提寺の増上寺(港区)にあったものです。増上寺にはかつて広大な徳川將軍靈廟がありましたが、昭和20年の戦災で焼失。西武鉄道がその土地を買収して用地整備に伴う墳墓の発掘・改葬作業を行った後、靈廟にあった宝塔類を引き取ってほしいという話が長命寺に持ち込まれました。



写真左
広大院の宝塔



写真右
天英院の宝塔

【問合せ】郷土博物館 電話493-8585

図書館からのお知らせ

「赤ちゃんとお母さんのためのおはなしのじかん」の実施場所・実施日が増えました

子どもたちが出来るだけ早く、読み聞かせを通して本の世界に親しめるよう、ブックスタート事業の一環として実施している「赤ちゃんとお母さんのためのおはなしのじかん」を下記のとおり拡充いたしました。

手遊び・紙芝居・絵本の読み聞かせ等を中心にした、楽しいおはなし会です。予約はいりませんので、気軽にお立ち寄りください。

【実施会場及び実施日時】(☆)は拡充した箇所

- ◎元町つどいの広場(けやきホール内)
毎月第1木曜日 午後1時15分から1時35分まで(☆)
毎月第3水曜日 午前11時から11時20分まで
- ◎野塩つどいの広場(野塩地域市民センター内)
毎月第3木曜日 午前11時から11時20分まで
- ◎竹丘つどいの広場(竹丘地域市民センター内)
毎月第3金曜日 午前11時から11時20分まで
- ◎ころぼっくるつどいの広場(児童センター内)(☆)
毎月第2水曜日 午前11時から11時20分まで



写真左
ころぼっくるつどいの広場での「おはなしのじかん」の様子。
写真下
現在配布中の「だっこしてよんで」表紙。



図書館ブックリスト『だっこしてよんで』の改訂版を発行します

子どもと本との最初の出会いの大切さを保護者に伝えるために、1歳6か月児健診時に配布しているおすすめ図書のブックリスト「だっこしてよんで」の改訂版を年内に発行する予定です。

現在配布中のものは図書館ウェブサイトにてPDF形式で掲載しています。どうぞご利用ください。

【問合せ】中央図書館 電話493-4326

教育委員会の動き

◎審議状況

平成25年2月から平成25年8月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を7回、臨時会を1回開催し、議決された議案は下記のとおりです。

- 議案第2号 清瀬市教育委員会委員長の選挙について
- 議案第3号 清瀬市教育委員会委員長職務代理者の指名について
- 議案第4号 清瀬市スポーツ推進委員の選任について
- 議案第5号 清瀬市立図書館運営規則の一部を改正する規則について
- 議案第6号 清瀬市障害者の利用に係る公の施設の使用料等の減免に関する条例施行規則について
- 議案第7号 事務の臨時代理の承認について
- 議案第8号 清瀬市立小・中学校の教育課程について(平成25年度)
- 議案第9号 清瀬市立公立学校教員の処分内申の承認を求めることについて
- 議案第10号 事務の臨時代理の承認について
- 議案第11号 平成26年度清瀬市公立学校教科用図書の採択について(特別支援学級用)
- 議案第12号 清瀬市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

◎教育委員会の会議について

教育委員会の会議はどなたでも傍聴できます。また、ウェブサイトでは過去の会議録を公開しています。開催日時や傍聴の方法などについては清瀬市ウェブサイトをご覧ください。下記担当課へお問い合わせください。

【問合せ】教育総務課

いよいよ開催！スポーツ祭東京2013

平成25年9月28日(土)から10月14日(月)まで、東京都で第68回国民体育大会と第13回全国障害者スポーツ大会を併せた「スポーツ祭東京2013」が開催されます。清瀬市では9月30日(月)・10月1日(火)・3日(木)に下宿第三運動公園サッカー場で女子サッカー競技を開催します。清瀬市花卉クラブのご協力のもと「花いっぱい運動」と題して市立小学校の子どもたちが一所懸命に育てたたくさんの歓迎花のプランターを当日会場にご用意し、全国から訪れる皆さんをお迎えします。



マスコットキャラクター
ゆりーと

【問合せ】生涯学習スポーツ課
電話495-7001



小学生が育てたたくさんの花々。当日はジニア・マリールド・メランポジウムの3種類を会場にご用意します。

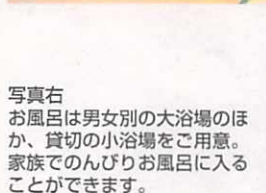
観光に、スポーツに、イベント盛りだくさんの立科山荘をご利用ください！



広々として開放的な立科山荘のロビー



写真左
客室は和室。足をのびしてゆっくりとくつろぐことができます。バリアフリー化されたベッドルームを備える和洋室もあります。



写真右
お風呂は男女別の大浴場のほか、貸切の小浴場をご用意。家族でのんびりお風呂に入ることができます。



長野県の信州白樺高原にある清瀬市の保養施設「立科山荘」。今回は立科山荘周辺のレジャーやイベントなどを中心にご紹介いたします。巷ではマラソンがブームです。毎年女神湖や白樺湖でマラソン大会が開催され、今年6月に女神湖で谷川真理ビーナスマラソン、9月には白樺湖をスタート地点としてOSJ八ヶ岳スーパートレイル100マイルレースが行われました。両会場にアクセス至便な立科山荘は大会参加者の皆さんの宿としてもお勧めです。

これからの季節はハイキングに絶好のシーズンです。「八子ヶ峰」や「男女倉山」は登山口から山頂までの標高差も大きくなく、登山の距離も2km強と初めての方にもおすすめできる山です。

「登山はちょっと苦手」という方には立科町主催のイベント「中山道ウォーキング in たてしな」はいかがでしょう。芦宿、笠取峠の松並木、茂田井間の宿などへ秋を楽しみながら歩きます。

生涯学習センターでは、夏と秋の2回立科山荘を利用した登山イベントを実施しています。ウェブサイトや市報で募集のお知らせをしますので、チェックしてみてください。

冬の信州白樺高原はスキー・スノーボードのお客様でにぎわいます。山荘にはスキー乾燥室も完備。山荘から一番近いスキー場「白樺高原国際スキー場」は12月中旬頃オープン予定です。

立科山荘が主催するイベントもたくさんあります。地元の野菜食べ放題や射的などの「夏祭り」企画、ゲストを招いて優雅な時間を過ごす「クリスマスディナーショー」、安くて楽しい「スキースタツアー」、年末年始に宿泊の方向けに年越しそば食べ放題などの感謝イベント、毎回好評の「国宝松本城と玉村豊男ワイナリーツアー」などなど、お客様に楽しんでいただけるようなイベントをこれからも準備しています。

立科山荘に行ってみたくても、「機会がない」という方はぜひイベントへの参加をきっかけに立科山荘をご利用ください。人数が多いときは送迎バスの手配などもできます。皆さんのお越しをお待ちしています。

【問合せ】清瀬市立科山荘 電話0267-51-2300

子どもの見守り活動にご協力ください

子どもたちが安心して学び、遊び、生活できるような安全な生活環境づくりを推進していくため、学校、PTA、地域及び教育委員会が連携し一体となって、子どもを犯罪から守るために取り組んでいます。この趣旨のもと、平成13年に「みんなで守ろう未来を担う清瀬の子どもたち」をキャッチフレーズに「子どもSOS」制度を立ち上げ、(1)子どもたちに声をかける一声運動、(2)子どもたちが被害に遭いそうになったとき助ける援助活動、(3)不審者や危険箇所等の情報を知らせる通報活動、(4)地域パトロールの実施に協力する支援活動、という4つの活動のうち1つでもご協力いただける方に登録をお願いし、現在約2,100名の保護者や地域の皆さんにご協力をいただいています。

登録していただいた方には下記の「子どもSOSプレート」をお渡しし、ご自宅の玄関等に表示していただいています。

登録はウェブサイトで受け付けています。下記のURIにアクセスしていただくか、清瀬市ウェブサイトトップページの右上にある検索ボックスに「子どもSOS」と入力して検索してください。ご協力をお願いいたします。

<http://www.city.kiyose.lg.jp/hp/page000000800/hpg000000716.htm>



子どもSOSプレート

【問合せ】教育総務課

音訊メディアをお貸しします

教育委員会だよりの音訊を収録したCDをお貸しします。詳しくは秘書広報課へお問い合わせください。

教育委員会だよりきよせ 43号

編集・発行 清瀬市教育委員会
清瀬市中里五丁目842番地
電話 492-5111 (代表) / FAX 495-3940

教育委員会だよりきよせ

検索